

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コアラ園堺東			
○保護者評価実施期間	R6年8月13日 ～ R6年9月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	R6年9月10日 ～ R6年9月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R6年10月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の提示、報告	ウィーク活動の設定 LINEによるその日の報告	朝の打ち合わせ、引き継ぎの充実 パート従業員への共有 活動のめあて
2	支援計画作成についての一連のサイクルの充実	全従業員がその家庭に関わっている 中間周期モニタリング 面談中心のモニタリングの実施	計画的な実施、その日に休みだった職員でもわかりやすい書式での共有 日々の支援への落とし込み、スモールステップの提示
3	初回アセスメント時の説明と聞き取り	じっくりと時間をかけ安心して利用を開始してもらえるよう心がけている	初回、半年に1回だけでなく細やかにやり取りできる関係づくり

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備についての周知	限られたスペースでの工夫面 定員に対しての職員配置	モニタリング時の説明 事業所アンケートからの保護者へのより現場がわかるフィードバック
2	地域交流や父母の会等の家族支援	個別の意見からの吸上げではニーズが見られなかったがここ数年新たに取り組んでいる	各種イベントに込めた目的や意義の発信
3	非常時の対応の周知	契約時の説明のみに留まっており、利用の長い方へは書面での説明の期間が長かった。	モニタリングごとに説明を実施 避難訓練への保護者参加開始

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数 7名	
コアラ園堺東		R6年 1 0月 2 9日					利用児童数 7名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2		1	・平日は少ない人数の時間帯で行ってるので土曜日利用の時はいっぱいに見えるがそれもワイワイ楽しそうで良い。 ・土曜日は人が多いみたい	規定上のスペースは確保しています。現状、曜日や時間帯によってはニーズが高くなる時もありますので、活動の内容等を調整してスペースが確保できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			1		
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			1	・たまにしか利用しないのにいつも色々プラン考えていただいています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6			1		
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6			1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		1	・夏祭りイベントで動画を撮ったのを今もよく見ている。 ・研修会はない	事業所で主催している研修はないですが、研修会等の情報をLINEでお知らせさせていただいています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6			1	・利用後のLINE楽しみにしています。 ありがとうございます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2		2	・夏祭りイベントの時に他の利用児の保護者の方と話せてよかったです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			2	・まだ本格的な相談したことないですが、いろいろなことに対応してくださっています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5			1	・時々久しぶりすぎて行く時に泣きますが、楽しんで帰ってきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5			1	・コアラ園の前を通るといつも“コアラ園行った”とよく言います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			1	・たまにの利用で本当に色々してくださって嬉しいです。様子の写真を見ながら家族でよかったねと話をしています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
コアラ園堺東		R6年10月29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		限られたスペースではありますが、パーティションを活用しての構造化、グループ活動中心にスペースを調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		定員10名に対し管理者+4名（有資格3名以上）を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		パーティションを活用したり、活動ごとの区切りをホワイトボードを使って今日の予定を視覚化しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清掃、除菌を毎日行い、安全点検は毎月行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		パーティションを使い小スペースを確保したり、事務所内にもスペースを確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		業務改善報告書の作成や、出社時の業務メモ及び前日の情報共有をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回の事業所アンケート	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		随時	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内研修（その時に旬なテーマ）の開催、外部研修への参加及びその研修での学びの共有	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		作成中	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		アンケート用紙での事前聞き取りをもとにできる限り面談で行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		利用児ごとに月に1回はモニタリングできるよう取り組み中。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		利用児ごとに月に2回はモニタリングできるよう取り組み中。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		ADLに対するアセスメントツール利用(必要児)、個別に経過記録も活用。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		より具体的に適切な目標設定を目指し、本人理解に努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		第2土曜日に翌月の活動予定を話し合い、担当ごとに活動のルールや環境を調整している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		日々の活動に加え、週ごとのテーマを用意し、それに沿った活動も取り入れることで固定化しないようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		日々の活動に加え、週ごとのテーマを用意し、それに沿った活動も取り入れることで固定化しないようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日会議を実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		できる限り当日中に情報共有、遅くても翌日。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		小さな気づきを見逃さないように意識している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		利用回数に応じて月1～2回以上モニタリング実施	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が基本的に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		必要に応じて準備はしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		必要に応じて準備はしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	9		育成事業で来ていただいた時など	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		図書館でのお話会への参加や、事業所でイベントを企画したりしています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		研修等には積極的に参加させていただいています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		LINE等で研修会等の情報提供はしているが事業所としては開催していない。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		初回利用時等、安心してスタートできるよう、説明を行なっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時、情報共有している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		負担だという保護者もあり、会としては存在しないが、イベントの実行委員会（任意参加）や当日の参加などで、保護者同士やきょうだい同士で交流できる場を提供している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		迅速かつ適切な対応を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		おたよりや活動予定を保護者へ毎月送信し、不定期ながらSNS等も更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		コミュニケーションツールを増やすことを目指した支援の取り組み（学校、家庭との連携）、手話のできる職員あり	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		外部参加可能なイベントを開き、広報もしたがボランティアスタッフ以外参加はなかった。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		月1回以上の避難訓練実施 各マニュアル作成済み、それらに基づいた会議や、訓練を実施している。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		月1回以上の避難訓練実施 各マニュアル作成済み、それらに基づいた会議や、訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		必ず確認している。変更があれば情報共有していただくよう依頼し、面談時には、変更点や近況を確認。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		配慮が必要な場合、提出いただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		モニタリング時などに周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		月1枚提出。すぐ改善に取り組んでいる。翌月に前月の集計をとり、分析の強化。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		今年度は年2回の委員会開催に加え事業所内研修をつい	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		現在該当なし。	